

平成29年度第1回大阪府泉州保健医療協議会概要

日時：平成29年12月1日（金）14：00～16：00

場所：岸和田市立浪切ホール4階特別会議室

■議題(1) 第7次大阪府保健医療計画府域編（案）について

（資料に基づき、事務局（大阪府保健医療企画課）から説明）

（資料1-1）平成29年度中に策定・改定する健康医療部関係計画（計8計画）について

（資料1-2）第7次大阪府保健医療計画素案（概要版）

（資料1-3）第7次大阪府保健医療計画目標値一覧（案）

（資料1-4）第7次計画策定スケジュール（案）

（資料1-5）基準病床数について

（資料1-6）今後の「地域医療構想の推進」について

（資料1-7-1）多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制（イメージ）国資料

（資料1-7-2）保健医療計画に基づく精神疾患の協議の場

（主な意見・質問等）

- 第7次大阪府保健医療計画素案の医療需要の見込みで2030年ごろがピークとなり、その後2040年は2025年と同程度となると記載があり、医療需要の見込みがピークになった後は大丈夫だということであるが、最近の国勢調査と厚生労働省の使用している国立社会保障・人口問題研究所のグラフによると、高齢化率はまだまだ伸びており高齢化人口がフラットになるのは2060年である。そこまで耐えるのにこんな安易な目標でよいのか。これは大切な問題である。正確なデータを示してもらいたい。
- 一般病棟の基準病床数の算出要件で、分子の平均在院日数を短くした根拠は何か。
- 療養病床の基準病床数の算出要件で分子の介護施設・在宅医療等対応可能数が実態とかけ離れた数を掲示して、意味のない療養病床の基準病床数となっている。国が示した算出式であっても実態に合わないのであれば、府から国に意見していただきたい。
- 地域医療に係る調整会議で各市町村で示した在宅医療と介護施設での対応割合が70%対30%という無茶な数字がでている。

- 第6次計画時の基準病床数は6万700床で、既存病床数は約2万床多かった。その中で、必要病床数が10万床と出て、大阪府では、そんなにベッドを減らす必要はない。という話になった。しかし今回第7次計画で、基準病床数がさらに減少した。泉州では、8400床からずいぶん減っている。
- 一方的なデータを押し付けられて、医療提供側が医療を提供できないようになることを非常に危惧している。
- 厚生労働省の事務連絡等によれば、回復期を担う病床が大幅に不足し、回復期医療を受けられない患者が多数生じているというのは、間違いであり、病床機能報告の集計報告と必要量の単純な比較は、いけないと出ている。地域医療構想をこのまま進めるのは、如何か。
- この事務連絡は、回復期が不足しているから急性期を削って回復期にまわせというような議論がずっとなされてきたのは、実は違うということ。地域医療構想が「不足する病床の補充であって過剰の病床を削る計画ではない」ということをもう一度コンセンサスを得たい。
- 第7次計画から精神医療圏は大阪府全体から二次医療圏単位に変更されたが、基準病床数は大阪府全体で算出している。また、第7次計画には精神医療圏という記載もない。このことは、第7次計画で言及していただきたい。

(主な大阪府の回答)

- 将来人口推計データについてはいろいろな考え方があり、これが必ずしも正解かどうかも含めてこの会議で議論してもらおうと認識しているので、次年度以降、精査したい。
- 平均在院日数については、国指定で本府に裁量はない。在宅医療等対応可能数についても国の考え方を踏まえたもの。しかしながら、地域に根差した形で精査し、見えたものがあれば国に申し上げて、場合によっては次の計画からでも反映させてもらえるような、地域からのエビデンスをきちんと示したい。
- 第7次計画では、地域医療構想の推進にあたって、地域の医療機関の診療実績等について十分に実績を行い、病床の機能分化・連携を進めることとしている。
- 精神医療圏の記載については、検討したい。

■議題(2) 第7次大阪府保健医療計画泉州二次医療圏(案)について (資料に基づき、事務局(和泉保健所)から説明)

- (資料 2-1) 泉州圏域大阪府保健医療計画（第 6 次）における 5 疾病 4 事業の取組内容と課題について（抜粋）
- (資料 2-2) 泉州圏域大阪府保健医療計画（圏域版）各種指標の年次推移
- (資料 2-3) 泉州圏域各懇話会等から第 7 次大阪府保健医療計画に関する意見まとめ
- (資料 2-4) 第 7 次大阪府保健医療計画泉州二次医療圏（案）

第 7 次大阪府保健医療計画泉州二次医療圏（案）については、府域編と二次医療圏編に加筆修正することを条件に承認された。

（主な意見・質問等）

- 将来人口推計の根拠資料が古いので、入れ替えてほしい。
- 回復期病床が不足しているのは、あくまでも病床機能報告制度でのことで、目安であって見込み数ではないということを記載するか、削除しないといけない。
- 回復期の需要が増加するとのことであるが、厚生労働省通知からもきちんと見直してとのことなので、真摯に対応して修正をお願いします。
- 地域包括ケア病棟は、回復期の病床か急性期の病床かそれとも病院の報告次第なのか。
- 基金に関しては、回復期病床への移行などの場合だけでなく、もう少し柔軟に対応してほしい。（要望）
- 超高齢社会で健康寿命の延伸という視点が抜けている。（指摘）
- 在宅患者に対しての医療提供側の供給がなかなか伸びないが、後方支援病院をつくるとか、かかりつけ医全体で地域住民を支える体制づくりをすれば、もう少し在宅医療も進んでいくのではないか。
- 今後、独居化もすすんでくる。それらの高齢者の生活を地域で支えるのが、地域包括ケア。かかりつけ医を中心としたチームづくりを行政の中でしっかり考えていただきたい。

（主な大阪府の回答）

- 将来人口推計データについては、府域編を受けて圏域での数値を落とし込んでいるデータについては確認する。
- 地域医療構想については、国の通知も踏まえて、記載内容については、精査する。

- 地域包括ケア病棟は、実態として（急性期・回復期の）どちらを担っているかに着目して、病棟単位で病院に報告いただくのが制度になっている。
- 在宅医療に関しては、非常に重要であり今後、医師会の先生方とも相談させていただき進めていきたい。

■議題(3) 各懇話会（病床機能・在宅医療・医療・薬事・歯科保健・救急）報告

①泉州病床機能懇話会について

（資料に基づき、事務局（和泉保健所）から報告）

（資料3-1-1） 泉州病床機能懇話会の概要

（資料3-1-2） 泉州圏域病床機能報告数病院別一覧（平成26年度・平成27年度・平成28年度・平成34年度分予定）

②泉州在宅医療懇話会について

（資料に基づき、事務局（泉佐野保健所）から報告）

（資料3-2） 泉州在宅医療懇話会の概要

③泉州医療懇話会について

（資料に基づき、事務局（泉佐野保健所）から報告）

（資料3-3） 泉州医療懇話会の概要

④泉州薬事懇話会について

（資料に基づき、事務局（泉佐野保健所）から報告）

（資料3-4） 泉州薬事懇話会の概要

⑤泉州歯科保健懇話会について

（資料に基づき、事務局（岸和田保健所）から報告）

（資料3-5） 泉州歯科保健懇話会の概要

⑥泉州救急懇話会について

（資料に基づき、事務局（岸和田保健所）から報告・説明）

（資料3-6-1） 泉州救急懇話会の概要

（資料3-6-2） 医療機関リスト更新（医療対策課通知）

（資料3-6-3） 泉州医療圏における医療機関リスト

議題(3) 救急懇話会の医療機関リストについて承認

■議題(4) 泉州地域リハ連携会議・脳卒中地域連携パス運用会議報告

(資料に基づき、田中委員から報告)

(資料4) 泉州地域リハ連携会議・脳卒中地域連携パス運用会議報告

■議題(5) 泉州がん診療連携(ネットワーク)協議会報告

(資料に基づき、小切委員から報告)

(資料5) 泉州がん診療連携(ネットワーク)協議会報告

■議題(6) 泉州圏域糖尿病医療連携推進検討会報告

(資料に基づき、事務局(和泉保健所)から報告)

(資料6) 泉州圏域糖尿病医療連携推進検討会報告

■議題(7) 泉州圏域急性心筋梗塞地域連携クリティカルパス検討会報告

(資料に基づき、事務局(岸和田保健所)から報告)

(資料7-1) 泉州圏域急性心筋梗塞地域連携クリティカルパス検討会の概要

(資料7-2) 泉州圏域心疾患地域連携パス診療計画書(様式例・記入見本)

以上